

相模台小だより



2月号No.11

令和5年1月31日
松戸市立相模台小学校
校長 保坂 和志

<http://www.matsudo.ed.jp/sagami-e/>



公教育の持つ意味 思いを伝えあう姿を育てる。。

新しい年が始まったと思ったら、1月もう終わりです。この1月は大きな災害や事故事件などの報道がありました。今なお困窮されている方々に心が痛むひと月となりました。少しでも早く日常が戻ることを心より願うばかりです。そんな中、にじいろ活動を楽しむ子ども達の姿に改めて当たり前の日常の大切さを感じます。

ゲームがなかった時代は、地域の子も近所の公園でいろいろな年齢がまざりあって楽しんでいました。なかなか今の時代は見られなくなってきましたが、子ども達はいつの時代でも異年齢と一緒に楽しむ面白さを知っています。

にじいろ活動を見ていると小さな子たちは自分の思いを優しく受け取ってもらえるうれしさを感じています。最初はなかなか言いづらくもじもじしていても、大きな子たちが子どもなりに小さな子の思いを補足しながら聞き取ります。回数を重ねるごとに気持ちをわかってもらう嬉しさを感じ、だんだんと仲よくなるのです。遊びを通して慣れてくると小さな子は自分の思いを伝えられるようになるのです。大きな子達といってもやはり子どもなので、何も言わない小さな子の思いを先回りしてすべてやってあげることはできません。そこが大人と違うところです。でも、そこがいいのです。手をかけ過ぎることはないのです。逆にわかってもらえるようにたどたどしく思いを伝えようとするのです。そんな関係がお互いにとって成長するところなのです。

このような異年齢で遊ぶ姿を見ていると自分の思いを聞いてもらえる安心感や面倒を見る有用感などの自己肯定感が子ども達に広がっていくのを感じます。

同学年では、そのような言動ができない子もいて、けんかなどのトラブルになってしまうことが中にはあります。実にさまざまな子ども達がいるので、そのようなことも起こりうるのです。

けれど大切なことは、そのようなトラブルを乗り越える体験を経験にすることです。そのような経験を重ねることで、相手のことや気持ちがわかり、許容できることが増えたり、同じような状況を上手く避けられるようになってきたりするので。

許容範囲が狭くなった大人の世界とは違って、「何とかなる」といった、いい意味でのファジーな関係を学ぶことができること、これが子どもの世界の持つ力だと考えています。



公立の学校では、同じような学力、同じような価値観だけではないさまざまな子ども達が集まっています。できることできないことは人それぞれです。これは、社会と同じなのです。

公教育では、小さな社会のさまざまな多様性のなかでどのように相手と関係を持っていくのか折り合いをつけるのかを学んでいく場なのです。社会に必要な力の土台を培っていくことが公教育の役割であるとも感じています。そんな学校生活を通して一人一人少しずつ力をつけていきたいと思っています。

年度の終わりを感ずる時期となってきました。学年のまとめとともに職員一同子ども達のさらなる成長のために取り組んでいきたいと思っています。

2月行事予定



日	曜	校 内 行 事	日	曜	校 内 行 事
1	木	授業参観・学校評議員会	15	木	
2	金	7くみ授業参観	16	金	6年生を送る会 ブラスバンド部一中合同練習
3	土		17	土	
4	日		18	日	
5	月	委員会活動	19	月	クラブ活動
6	火	入学説明会 にじいろ活動（5年生企画）	20	火	
7	水	読み聞かせ(中学年)代表委員会 日本語指導統合学習（昼休み） 7くみ校内授業研究会	21	水	読み聞かせ(低学年)
8	木	5年川光物産出前授業 SC来校日	22	木	6年学級懇談会 SC来校日
9	金	5年川光物産出前授業	23	金	天皇誕生日
10	土		24	土	
11	日	建国記念の日	25	日	
12	月	振替休業	26	月	委員会活動
13	火		27	火	
14	水	読み聞かせ(高学年なのはな7くみ)	28	水	全校朝会 日本語指導統合学習（昼休み）
		【3月の予定】	29	木	6年短縮日課 下校 :

- 1日(金) 1~5年保護者全体会・学級懇談会
- 4日(月) 7くみ個人面談(～6日)
- 13日(水) 教育相談
- 14日(木) 短縮日課前日準備
- 15日(金) 卒業証書授与式 1~5年生自宅学習(登校しません)
- 18日(月) 給食終了
- 19日(火) 21日(木) 22日(金) 短縮日課
- 22日(金) 修了式・お別れの式
- 25日(土) ~学年末休業

裏面もあります

2月の生活目標 「感謝の気持ちを伝えよう」



今年度も残すところ2か月となりました。

子どもたちは、日々の学校生活や学校行事を通し、前向きに努力をしたり、友だちと協力したりすることで、4月と比べ、大きく成長した姿を見せてくれています。その成長は、自分一人ではできないことも多く、友だちや家族、地域の方などの支えがあってからこそそのものではないかと思えます。

1年を振り返り、どのような場面で、どんなことをしてもらったのかを考え、感謝の気持ちを伝えて、新しい学年を迎えたいと思います。慌ただしい日々の中だと、「やってもらって当たり前」という感覚になってしまうことがあります。また、感謝の気持ちを持っていてもきちんと伝えずに終わってしまうこともあるかと思えます。自分が支えてもらったりやってもらったりしたことに対し、自然と「ありがとう」と言葉が出てくる、温かい気持ちをもった人に子どもたちになってほしいと願っています。「ありがとう」は、自分も相手も幸せになれる魔法の言葉です。「ありがとう」を大切にできるよう、日々の学校生活や学校行事の取り組みの中で、指導に当たっていきます。

お知らせ



新しい児童会役員が決まりました。

○1/19の児童集会では、今まで頑張ってくれた児童会役員から来年度の新児童会役員へ児童会のカギが渡されました。新しい役員さんは、以下の8名です。

○5年	さん	さん	さん
	さん	さん	
○4年	さん	さん	さん
			さん



また新たな気持ちで頑張りたいと思います。

来年度の検討していることについて。

- (1) 運動会の開催について
 - 来年度も新校舎増築工事に伴い、校庭の使用が制限されます。そのため、運動会は、第一中学校の校庭を借りて1学期に実施する予定です。
- (2) 日課の変更
 - 教材研究等の時間を確保するため、水曜日の下校時刻を変更します。朝学習と清掃時間をカットして
5校時下校は : 6校時の学年の下校は : となります。
- (3) 配付物のデータでの配信
 - 学校だよりなどの手紙を紙ベースではなく、データでの配信をする予定です。詳細は、後日お知らせします。
- (4) 混合名簿への変更
 - 今まで男女別生年月日順の名簿を使用していましたが、男女混合あいうえお順の名簿に変更の予定です。

1月のHPから

子ども達の様子を
HPでお知らせしています

1/19 大谷選手からのプレゼント

大谷選手のサイン入りグローブがプレゼントされたことをお昼の放送の途中でアナウンスしたら放送室に聞こえるほどの歓声が校舎に響きました。

活用の仕方を児童会役員さんに考えてもらうために集まるように放送したところ、みんな素早く集まってくれました。なかなかユニークな活用方法も飛び出しました。決定したことは、火曜日の給食の時間にチームで伝えることになりました。楽しみにしてくださいね。

児童会役員さん以外も校長室の前の廊下から興味津々に事の成り行きをうかがっている子達も多数です。みんな大谷選手が好きなのですね。



1/19 1・6年交流 似顔絵のプレゼント

1年生と6年生の交流の最後には6年生を送る会での装飾やプレゼントがあります。

1年生が描く似顔絵はとても味があります。

6年生もどことなくうれしそうです。

この取組があると卒業式が近づいてきた感じがするのです。

6年生も小学校生活を悔いなく締めくくってほしいと思います



1/17 児童会引継ぎ式



児童会役員の引継ぎ式をリモートで行いました。

旧児童会役員さんはこの1年間での思いを、そして新役員さんは意気込みを全校に伝えました。

心がけていたことや力になったことは挨拶と協力の大切さを感じたり行動できたり、みんなの前で話すことができるようになったり、意見をまとめたりできるようになったりした、など思いを堂々と発表する姿に大きな経験となったことがわかります。

また、誰かが誰かのためにを思って全校が行動できるようにしたいと思う、とか相模台小でよかったな、楽しかったなと思えるようにしたいなど意気込みを伝えました。そして、最後に児童会のカギを引き継ぎました。

失敗しても大丈夫、自分で考えて行動する姿がこれからの大きな力になること、役員さんだけでなく、画面の向こうの全校の子ども達も自分ができることを協力したり行動したりすることが楽しい学校につながることを伝えました。

応援しているよ！相模台小の子ども達！！

引継ぎ式が終わり、リモートのスイッチを切った瞬間に新旧の役員さんが「ふうっ！」と大きな息を一齐に吐きました。思わず笑みがこぼれます。みんなとても緊張していたのですね。そういう緊張感の中で自分の思いをしっかりと伝える経験を重ねることも大切なのです。